

市議会だより

No. 81

2023.8.7

第1回臨時会【5月】・第2回定例会【6月】
政策的経費など15億6千万円を可決

Contents / 目次

- P02 市民の皆さまへ
- P03 第1回臨時会・第2回定例会の概要
- P05 審議結果一覧
- P06 各常任委員会委員長報告
- P07 予算特別委員会レポート
- P08 代表質問・5 議員
- P13 一般質問・9 議員
- P17 政務活動報告
- P18 新議員紹介／政務活動費／議長交際費
- P19 議会活動報告
- P20 市民からひとこと／編集後記

●表紙写真／北原C遺跡出土 水煙文土器

すいえんもんどき
曲輪田地区北原C遺跡から出土した今から約4700年前（縄文時代中期後葉）の土器。渦巻状の曲線がいくつも連結した立体的でダイナミックなデザインのこれらの土器は、八ヶ岳西南麓から甲府盆地周辺のみ限定され、まるで水煙が立ち上っているような様から、新潟の有名な火焰型土器に対して、「水煙文土器」と呼ばれています。水煙文土器は、大きな輪っかを組み合わせたような装飾と、モンブランのように細い粘土紐で渦状に巻いた装飾との大きく2種に分類でき、北原C遺跡からはその両方が揃って出土しています。縄文人たちの繊細かつ大胆な美意識と技術の高さをうかがうことができる土器です。

市民の皆さまへ

令和5年1月4日の議場における現金配布の問題は、本議会に対する信頼を著しく失墜させました。同僚議員が起こした軽率な行動により、市民並びに関係者の皆さまに多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを、南アルプス市議会を代表いたしまして深くおわび申し上げます。

私たちは、議会として二度と同じ過ちを犯さないために全議員で協議を重ね、市民の皆さまに事実を伝えること、再発防止を徹底すること等を決めました。その内容については、7月16日に「議会だより臨時号(※)」を発行し市民の皆さまにお知らせしたところです。

市民の皆さまの負託を受け行政を監視する立場にある議員は、本来であれば、常に高い倫理観を持ち品位の保持に努めていなければなりません。しかし、今回、このような状況を招いてしまった以上、議員の倫理基準を明文化し市民の皆さまに約束する必要があると考え、政治倫理条例の策定を再発防止策とさせていただきます。今後は政治倫理条例の中で、議員が行ってはいけない行為を具体的に列挙し、市民の皆さまに議員のあるべき姿をお示ししていきたいと思っております。

これまで議会改革の旗を掲げ取り組んできた「議会の見える化」、「市民の声を市政に反映」、「行政の監視機能の強化」、「政策提言」などは、市民の皆さまからの声を市政に反映するために進めてきたことです。市民の皆さまの信頼なくして私たち議会は成り立ち得ません。このことを肝に銘じ市民の皆さまからの信頼を回復するため誠心誠意努めてまいります。

市民の皆さまには、市議会に対しまして率直なご意見を賜りたく巻末の「市民からひとこと」等にご投稿いただけたらと存じます。

今後は市議会の使命を全うすべく全議員が一丸となって精進してまいります。

南アルプス市議会議長 飯野 久

(※) 「議会だより臨時号」はホームページに公開しております ▶



臨時会で承認された補正予算

令和5年第1回臨時会が5月23日に開催され、金丸市長から、専決処分承認案6件(条例の一部改正4件、補正予算2件)、および同意案3件の提出がありました。採決の結果、いずれも、全会一致で原案のとおり承認・同意しました。

A 子育て世帯生活支援

特別給付金支給事業(ひとり親)(その他)

内容 対象者に対して、児童1人につき5万円を支給する

対象者 ①児童扶養手当受給者等
②ひとり親世帯以外の市民税均等割が非課税の子育て世帯等

目的 食費等の物価高騰に直面し、影響を特に受ける低所得の子育て世帯を支援するため

財源 国の交付金

B やまなし子育て世帯生活支援特別給付金事業(ひとり親)(その他)

内容 Aの事業の支給対象者に対して児童1人につき5万円を上乗せして支給する

目的 食費等の物価高騰に直面し、影響を特に受ける低所得の子育て世帯を支援するために、国が実施する給付事業に上乗せする形で山梨県が独自に実施

財源 山梨県の補助金

市長選挙後 初の定例会

一般会計 政策的経費など 15億6千万円を可決

令和5年第2回定例会が6月9日から6月30日までの22日間の会期で開催されました。

金丸市長から条例案6件、補正予算案2件、財産の取得案2件、土地の売払い案1件、同意案5件、ほか3件、合わせて19案件の提出がありました。

※5ページ参照

4月に行われた市長選挙後、初となる今定例会では、市長説明要旨において、金丸市長3期目の市政運営の取り組み方針として、市民の皆さまに對しての約束「三本の柱」が示されました。

※下段参照

一般会計補正予算案は、補正額を15億5795万3千円とし、予算総額を338億455万8千円とするものでした。今定例会では市長選挙後の肉付け予算として政策的経費や新規事業などの経費が盛り込まれました。

※4ページ上段参照

市長から提出された案件は、いずれも原案のとおり可決しました。

このほか、定例会最終日に小林敏徳議員から議長不信任の動議が提出され、討論後の起立採決の結果、賛成少数により否決しました。

※4ページ下段参照

代表・一般質問 ※8~17ページに掲載

6月20、21日に14名の議員が代表・一般質問を行いました。今定例会では、市長が示した「三本の柱」に関して多くの質問がありました。

金丸市長が市民の皆さまに向けて示した約束「三本の柱」 ※市長説明要旨をもとに議会だより編集委員会が作成

第三の柱「魅力あふれる地域整備」

今後の4年間は市が大きく発展するタイミングであることから、住環境や市の発展につながるインフラ整備にしっかりと対応することで魅力ある地域をつくる。

- 新鏡中条橋の整備
- 県・関係市町と協議を重ねる
- 釜無川の治水対策
- 堆積土砂の撤去等を国県に要望
- 交通インフラの整備
- 南アルプスIC周辺の渋滞対策
- 六科交差点の渋滞緩和に向けて検討・対策
- 土地利用の在り方について検討
- 総合計画や都市計画マスタープランを将来を見据えたまちづくりの観点から空家の有効活用
- リニア開通を見据えたインフラ整備

第二の柱「希望をかなえる子育て応援」

誰もが安心して子どもを産み、育てられる環境づくりの取り組みをさらに推進する。充実した子育て応援を市内外に発信し、移住定住につなげる。

- 【これまでの取り組み】
- 18歳までの子ども医療費の無償化
- 保育料の完全無償化
- 公立小中学校の給食費無償化
- 放課後児童クラブの整備充実等
- 【今後の取り組み】
- 私立や市外小中学校に通う、市内の児童生徒への実質的な給食費無償化
- 未就学児世帯へのさらなる支援
- 保育士の人材確保に向けた取り組み
- 保育士の待遇改善
- 保育士の負担軽減、保護者の利便向上に向けたICT導入の研究

第一の柱「未来をつくる産業振興」

新産業拠点整備による賑わいの創出を観光産業に波及させ、交流人口を増加させる。企業誘致により雇用を創出する。

- 集客交流拠点の整備
- 「コストコ」「地域交流施設」の令和6年中の開業に向けた着実な準備
- 交通のハブ拠点の整備
- 南アルプスIC周辺整備事業
- 本市のさらなる発展に道筋をつける
- 観光産業の発展
- 本市への集客をフルーツ観光と山岳観光に結び付ける
- 伊奈ヶ湖の整備
- インバウンド観光
- 企業誘致
- さらなる優良企業の誘致による雇用の創出

946万円

南部保育所主食提供整備事業 ほか2事業
保育所給食保護者負担を軽減

- ・南部7保育所（若草、榊形中央、榊形北、榊形西、豊、落合、南湖）において、主食（白米等）の提供を行う

●これまで
南部7保育所に通う3歳以上児の昼食

- ・おかずは保育所で提供
- ・主食は各家庭で持参

●今後

- ・おかずは保育所で提供
- ・主食も保育所で提供
- （各家庭での主食の持参は不要になる）
- ・1人あたり1か月550円の負担金

305万円

家計急変世帯に給付金

エネルギー等価格高騰重点支援給付金支給事業（市単）

- ・対象となる世帯に、1世帯あたり3万円を支給する
- ・対象は、令和5年1月以降家計急変により住民税非課税と同水準の世帯
- ・価格高騰の影響を受けた低所得世帯の支援のため
- ・市が独自に実施する事業

1億8644万円

住民税非課税世帯に給付金

エネルギー等価格高騰重点支援給付金支給事業

- ・住民税非課税世帯に、1世帯あたり3万円を支給する
- ・価格高騰の影響を受けた低所得世帯の支援のため
- ・財源は、国の地方創生臨時交付金を活用

103万円

小中学校体育館照明のLED化

- ・屋内運動場等照明LED化改修事業（小学校分）（中学校分）
- ・小学校11校、中学校6校の屋内運動場の照明をLED化する

293万円

伊奈ヶ湖周辺再整備事業
基本構想を策定

- ・伊奈ヶ湖周辺再整備事業
- ・榊形山および伊奈ヶ湖周辺の観光資源の活用を図るための再整備基本構想を策定する

1億445万円

南アルプスブランド戦略事業
農業の生産基盤強化を支援

- ・南アルプスブランド戦略事業
- ・農業の収益力強化、高性能な機械・施設の導入などを総合的に支援する
- ・財源は、県の補助金等を活用

249万円

防犯対策事業
防犯カメラを設置

- ・防犯対策事業
- ・市内5箇所に街頭防犯カメラを設置する
- ・犯罪の抑止、事件等の早期解決、その他市民生活の安全確保のために実施

143万円

防災対策事業
想定浸水深の表示板を設置

- ・防災対策事業
- ・市内145箇所に表示板を設置する
- ・市民の皆さまが、日頃から水害リスクを把握し、水防への意識を高め、浸水深の知識を深めることを目的に実施



討論 賛成！ 反対！ 私はこう考える

南アルプス市議会 飯野 久 議長の不信任決議案

議案の経緯

定例会最終日（6月30日）に小林敏徳議員から議長不信任の動議が提出されました。

提案理由



問題解決を曖昧にした責任は重大

小林 敏徳 議員

1月4日に議場で現金が配布された件に関して、議長としての問題解決を曖昧にした結果、世間を巻き込む大問題となってしまった。議会としての早急な対応を逸し、問題を終息させることに努力することなく議会を混乱させた責任は重大であるため、議長の不信任を発議する。

反対討論



議長不信任の理由が全く無い!!

有野 一成 議員

①今回の件について議長の判断と対応は極めて適正、適切である。②議長が辞めなくてはならない理由が全く無い。③みんなで議会改革を進めている重要な時期に議長を交代することは適切ではない。以上3つの理由により、不信任案の提出は言語同断であり、議長不信任案に反対する。

討論後の起立採決の結果、賛成少数で議長不信任決議案は否決となりました。

令和5年第1回臨時会 第2回定例会 審議した議案とその結果

上程議案			結果	保坂	藤田	保坂	飯野	三枝	松野	戸栗	三木	有野	櫻田	花輪	村松	野中	北村	矢崎	小池	齊藤	清水	齊藤	河野	小林			
○：賛成 ×：反対 棄：棄権 欠：欠席				人	由未	健	恵子	守和	昇平	淳	充	一成	力	幸長	三千雄	國幹	千代子	俊秀	伸吾	論	重仁	博明	綿子	敏徳			
飯野久議長は議事進行のため賛否表明はしません。 賛否同数の場合のみ、議長採決として表明します。																											
第1回臨時会																											
承認	2	税条例の一部を改正する条例の専決処分	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
承認	3	地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の免除に関する条例の一部を改正する条例の専決処分	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
承認	4	国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
承認	5	介護保険条例の一部を改正する条例の専決処分	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
承認	6	令和5年度一般会計補正予算(第1号)の専決処分	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
承認	7	令和5年度一般会計補正予算(第2号)の専決処分	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
同意	1	教育委員会委員の任命	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
同意	2	監査委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
同意	3	公平委員会委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
第2回定例会																											
条例の制定																											
議案	35	南アルプスIC南地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
条例の一部改正																											
議案	36	税条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案	37	印鑑条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案	38	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案	39	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案	40	火災予防条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
令和5年度補正予算																											
議案	41	令和5年度一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案	42	令和5年度土地取得造成事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
その他																											
議案	43	財産の取得(消防団消防ポンプ自動車)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案	44	財産の取得(小型動力ポンプ付水槽車)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案	45	市道路線の認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案	46	市道路線の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案	47	市道路線の廃止	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案	48	土地の売払い	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
同意	4	芦安恩賜県有財産保護財産区管理委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
同意	5	中尾山外一字恩賜県有財産保護財産区管理委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
同意	6	高尾山外一字恩賜県有財産保護財産区管理委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
同意	7	城山外一字恩賜県有財産保護財産区管理委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
同意	8	雨鳴山恩賜県有財産保護財産区管理委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
動議		南アルプス市議会 飯野久議長の不信任決議案	否決	×	×	棄	×	×	棄	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			

※動議については、飯野議長の除斥により、野中副議長は議事進行を行ったため賛否表明はしていません。

各常任委員会 委員長報告

常任委員会の質疑の要約を掲載しています。各常任委員会では、条例案など予算以外の案件について審査しました。

質疑の一部を掲載しています

総務常任委員会

●財産の取得

（消防団消防ポンプ自動車）

Q 一般競争入札とのことであるが、入札に参加した業者の数は、

A 参加業者は3者である。

●財産の取得

（小型動力ポンプ付水槽車）

Q 多数の機能を備えた車両であるが、災害発生時において飲料水を供給する「給水車」としての活用は可能か。

A ホース連結箇所にて蛇口を設置することで、飲料水としての供給は可能である。



現在、八田消防署で使用している
小型動力ポンプ付水槽車

厚生文教常任委員会

●南アルプス市印鑑条例の一部改正

Q 現時点で想定しているトラブルやリスク等はあるのか。

A 今回の一部改正は、コンビニエンスストアなどの民間事業者が設置

する機器を使って証明書が取得できるサービスに関し、マイナンバーカードに加え、電子証明書が搭載されたスマートフォンを使用して印鑑証明書を取得できるようにするためのものであるが、電子証明書を搭載できるスマートフォンは、今のところアンドロイド端末に限られていることに加え、今般発生したトラブル等については、現在、デジタル庁で総点検を進めているため今のところ想定はしていない。

Q 使用するアプリは決まっているのか。

A マイナポータルアプリを利用してマイナポータルへアクセスする際のログイン時のマイナンバーカードの読み取りが不要となるものである。電子証明書を搭載できるスマートフォンの基準についても、セキュリティの高い機種に限定されているため、カードではなくスマートフォンを利用することが要因のトラブル等はないと思う。

Q 国においてマイナンバーへの紐づけ等で問題が多々出ている。

A このシステムを運用してから起こりうる問題などあらゆるものを想定し検証をしておく必要があると思うが、検証等はされているのか。

A コンビニエンスストア等でのマイナンバーカードを使った証明書の誤発行については、本市では国等の指導により、システム等の点検をすでに終了している。今回の一部改正における証明書発行システムの運用については、現在、事業者等で機器への対応途中であり、この期間を利用して国でも再検証を進めていくと考えている。施行されるまでに時間があるため、来庁者等への説明の際に不安な点等を聞き取り、状況等を把握していきたい。

産業土木常任委員会

●南アルプス市C南地区

地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の制定

Q 条例に違反した場合に現状復帰を命じる規定はないのか。

A この条例は、地区計画の区域内の建築物の用途、構造及び敷地に関する制限を定めているが、一方で第10条において「この条例の規定は、市長が公益上必要な建築物で用途上又は構造上やむを得ないと認めて許可したもの及びその敷地については、その許可の範囲内において適用しない。」として「公益上必要な建築物の特例」についても規定している。

いずれにしても、建物を建てる際には建築確認申請等の手続きが必要となるので、条例では現状復帰については規定されていない。

審査結果

各常任委員会に付託された議案については、慎重に審査した結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

予算特別委員会 レポート

予算特別委員会を設置し議長を除く全議員で、6月23日に審査を行いました。

今定例会では、6月9日に提出された一般会計補正予算(第3号)ほか1議案、および6月21日に追加で提出された1議案、以上の3案件が当委員会に付託されました。

質疑の一部を掲載しています

一般会計補正予算(第3号)

● 仮想基盤機器更新事業

Q 機器の老朽化とメーカーサポート終了に伴い機器を更改することであるが、当初予算に計上せず、補正予算で対応する経緯等があれば説明いただきたい。

A 市長選挙があり、当初予算については新規事業等を抑えた骨格予算となっていたため、補正予算での対応とした。

● 防災対策事業

Q 市内145箇所に想定浸水深表示板を設置することである

る。ハザードマップ上では何段階かの水深が表示されているが、対象となる地域のそれぞれの深さについて表示を行うということか。

A そのとおりである。

● 防犯対策事業

Q 街頭防犯カメラを市内5か所に設置することであるが、設置されたカメラとその映像等の管理者はどこ部署になるのか。

A 街頭に設置する防犯カメラについては、防災危機管理課が所管する。

● 第3次南アルプス市総合計画策定事業

Q 本計画を策定するにあたりアンケートを実施することであるが、このアンケートは総合計画の策定において市民の方々のご意見を伺うための大変重要なものである。どのような内容についてアンケートを行うのか。

A アンケートの詳細内容については今後改めて検討していきたい。今現在行っている市民アンケートと重複することなく、アンケートの重要性を認識した上で、これから市を前に進めていく上で必要な内容を市民の方々から聞きやすいようにしたい。

Q 予算のうち委託料が多くを占めているが、この事業の中の「基本構想(案)の作成」について業者に委託するということか。

A 計画の策定については、総合計画審議会など皆さまの意見を聞きながら主体的に作っていく。業務の支援について業者に委託するが、基本構想(案)の作成を丸投げして委託するということではない。

● 南アルプスIC新産業拠点整備事業

Q 整備中の集客交流拠点について、市の玄関口として認知度を高め、施設の愛称を募集することであるが、募集の方法は。

A 広く公募をしたいと考えている。ホームページ、広報紙、SNS等を活用し、できるだけ多くの方の目に触れるようにしていきたい。

● 猫不妊・去勢手術助成事業

Q 猫の不妊手術または去勢手術の費用を助成する(助成金額は雄1万円、雌1万5千円)という内容で、昨年度も実施された事業であるが、昨年度の実績に照らして今年度の予算は足りているのか。

A 昨年度の実績は663匹であり予算の不足が予想される。県の補助金を活用した事業なので、県がこの事業について補正予算を計上すれば、本市でも補正予算を計上して対応する予定である。

● 伊奈ヶ湖周辺再整備事業

Q 林間学校を伊奈ヶ湖で行っている学校が昔と比べると減っているように思う。学校行事での経験は子どもの記憶に残り施設への親しみやすさにもつながる。林間学校を伊奈ヶ湖で行うように各学校に働きかけはしているのか。

A 働きかけはしているが、林間学校の行先は各学校が決めることであり難しい点もある。一方、一昨年から学校支援プログラムを始め、小学生のうち1回は伊奈ヶ湖に行つてユネスコエコパークを学んでもらうという取り組みを行っている。今後も働きかけをしていきたい。

審査結果

予算特別委員会に付託された議案については、慎重に審査した結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。



討議の焦点

自主財源を中心とした歳入基盤確立の具体策は

▶ 積極的な企業誘致、移住・定住政策、ふるさと納税制度の充実に取り組む。

産業振興策のひとつである「観光産業」の推進策は

▶ 清水港や富士山静岡空港を利用する外国人の誘客とフルーツ観光・山岳観光に取り組む。



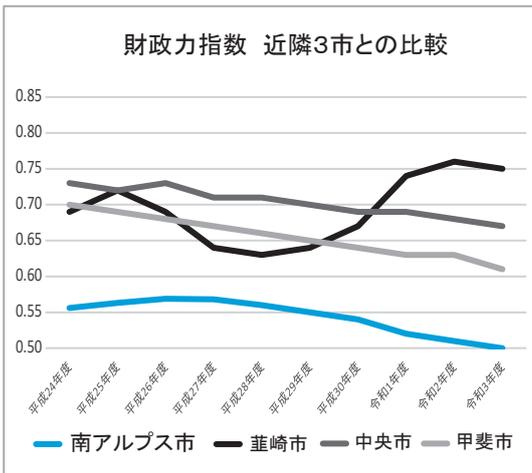
南風
櫻田 力 議員

金丸市長が集大成と位置付ける 3期目の市政への取り組み

Q 市長の3期目の公約である「産業の振興」「子育て・人口増加への対応」「総合的なインフラ整備」と、持続可能で健全な財政運営の実現には、自主財源を中心とした歳入基盤を確立し、その確保・充実に努めるとも、

事務事業の見直しや経費の削減による歳出の抑制を図るなどにより、行政サービスを低下させない効率的な財政運営を積極的に進めることが求められるが、その具体策は。

A 新たな雇用の創出を目指した企業誘致と若者や子育て世代の増加を促すための移住・定住政策の実施による市税の増収や、魅力ある返礼品の充実によるふるさと納税寄附金の更

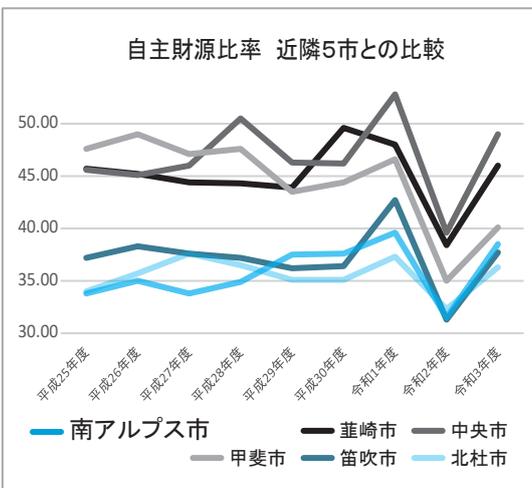


なる増額で、自主財源の確保、充実に努める。歳出については、第四次行政改革大綱に基づくコスト意識と経費削減の徹底と、事業の選択と集中により、行政サービスを低下させない安定的な行政運営の維持に努める。

Q 財政の健全性、県内13市ナンバーワンは評価するが、自治体の財政力を示す経済力指数、自主財源比率、経常収支比率などについても目標値を定めて取り組むべきではないか。

A ご指摘の指標を目標とすることも重要と考えている。これらの指標をどのように示し活用するかを研究する。

Q 産業の振興策の一つである「インバウンドや県外客をターゲットにしたフルーツ観光・山岳観光など



データ出典：山梨県HP「財政状況資料集」

観光産業の振興」の推進策は。

A これまで、静岡・山梨両県の経済連携である「バイ・ふじのくに」を契機に、中部横断自動車道を活用した観光施策を進めてきた。今年度は、インバウンド施策として清水港や富士山静岡空港を利用する外国人の誘客について調査研究を進める。フルーツ観光については、現在主力のさくらんぼ狩りに加え、桃、シャインマスカット、いちごなど年間を通したフルーツ観光の推進に努める。また、山岳観光については、早川芦安周遊道路の開通を見越して広河原周辺や夜叉神峠の活用について民間企業と連携することやエコパ伊奈ヶ湖周辺、櫛形山エリアの活用など、ユネスコエコパークの更なる推進に取り組む。

Q 自然環境や歴史文化を対象として、これらを体験して学ぶとともに、その対象となる地域の自然環境や歴史文化の保全に責任を持つというユネスコエコパークの理念に沿った観光産業の振興と移行地域の産業振興を目的とした農家民宿事業を推進できないか。

A 市として新しい観光スタイルを作る時期にきている。農家民宿の農業形態についても、できるだけ実行できるように検討、研究していく。

県下トップクラスの本市の子育て環境の更なる充実策は!!

▶私立や市外に通う小中学校児童・生徒の給食費無償化等を実施していく。

市道八田14号線の西進延長の早期実現は!!

▶県の有野・旭バイパスの進捗状況を把握し関係機関と協議して進めていく。



新政南アルプス
有野 一成 議員

子育て環境の一層の充実

Q 今年3月に子ども・子育て応援宣言が行われた。本市の子育て環境は県下でもトップクラスであるが現状と課題は。

A これまでは18歳までの医療費無償化、保育料の完全無償化、新生児おむつ代助成等の経済的支援のほか、小中学校のエアコン設置や学童保育施設、保育所等の改修・改築等、様々な子育て環境の充実に最優先で取り組んできた。

また、これらの施策の充実を市内外に発信し、今後も子どもの権利を尊重した子育て支援を市政の最重要課題として取り組んでいく強い決意を表明するため「子ども・子育て応援都市」を宣言した。課題は、子育て環境の充実によって増加し、また、今後も増加が予想される転入児童への対応として3歳未満児保育入所者、一時預かり事業、放課後児童クラブ等の受け入れ体制の強化等が必要であると考えている。

Q 子どもの転入者はどのくらい増えているのか。また、市は増加原因をどのように認識しているのか。

A 令和元年度から4年度までの推移を見ると、0歳から3歳までが365人の増加、4歳から6歳までが126人増えている。特に低年齢層の子



どもが増えているのが特徴で、本市これまでの子育て支援策等の成果だろうと認識している。

Q 子育て環境の一層の充実を図るための今後の具体策は。

A 私立や市外に通う小中学校児童・生徒の給食費無償化、保育所での地区の公立保育所での白米提供等を実施していく。

Q 私立や市外に通う児童・生徒の給食費無償化はいつから実施するのか。

A 令和5年度分から実施する方向で検討している。

Q 保育所の白米提供の保護者負担金(月額550円)も無償化したらどうか。

A その対象になっている市内の公立保育所に通っている3歳以上児

は、全体の47%であること。また、民間幼稚園等の実態の状況等も含めて今後研究していきたい。

当面は、3歳未満児の保育所入所の問題、また、保育所等を利用していない家庭の一時預かり保育等の拡充について検討している。

市道八田14号線の延伸

Q 市長公約の八田14号線の延伸の必要性について改めて伺う。

A 八田14号線の西進延伸は、六科交差点の渋滞解消だけでなく、本市の山岳観光、企業誘致、産業振興等の施策に繋がり、更に山梨県が現在進めている有野・旭バイパスとの接続により、本市の主要幹線道路網の構築や周辺地域の渋滞緩和にも効果が見込めると認識している。

Q 同道路の西進延長は、市の最優先整備道路として位置づけ、有野・旭バイパスが北進し富士通アイネットワーク(株)の東側交差点の完成と同時期に実施すべきと思うが。

A 山梨県と密に連携し、情報を共有しながら有野・旭バイパスの進捗状況の把握に努め、周辺の土地利用の状況や地権者、地元自治会等の意向、また、財源確保も踏まえ、関係機関と協議して進めていく。



討議の焦点



市長3期目に向けての優先課題は

▶本議会の所信に述べた、3本の柱を公約として推進する。

防犯カメラの設置は

▶補助金制度の導入を図り整備を推進する。



躍進会

野中国幹 議員

市長3期目に向けての優先課題

Q

本年4月27日に3期目の市長として就任され、6月議会の所信表明でも本市の将来像における取組や道筋について述べられているが、今後何を優先的に行うか、特に手掛けたい事業等は何か。

A

本議会の所信において「未来をつくる産業振興」「希望をかなえる子育て支援」「魅力あふれる地域整備」の3本の柱を公約に掲げ、柱に位置付けた事業を推進する。まずは、本市の最重要課題である南アルプスIC新産業拠点整備事業を着実に完了させることに全力を尽くす。更にインターチェンジ周辺の50～60haの土地利用についても、本市の発展に大きな影響を及ぼす大規模な事業であることから、任期中に道筋をつきたいと考えている。また、子育て応援を掲げる本市にとって、保育士の不足は喫緊の課題であるため、早急に対策を講じていく。更に、新鏡中條橋の整備は人流や物流、防災面において大きな効果をもたらす、地域の発展に寄与するものであることから、確実な実現に向けて関係機関と協議を進めていく。お示しした3本の柱に位置付けた事業をしっかりと推進することで、本市が持つ高いポテンシャルを最大限に引き出していく。

防犯カメラの設置

Q

昨今の犯罪状況を鑑みると、防犯カメラの設置は必要不可欠とされている。そこで自治会施設や災害避難場所等といった、準公共的施設について自治会等から設置の要望が出されている。これに対して市からの助成はどのように考えているか。

A

地域住民の身近に起きる犯罪の発生を抑止すると共に、事件の早期解決において「防犯カメラ」の設置は、大変有効な防犯対策である。本市においては、現在、市内小中学校、保育所、児童クラブ等の74施設に防犯

カメラを設置している。昨年度は山梨県の補助金制度を活用し、市内5か所に「街頭防犯カメラ」を設置した。本年度は大師区自治会において、山梨県の補助金制度を活用し、「子どもの見守りや窃盗等犯罪抑止」を目的に「街頭防犯カメラ」を地区5か所に設置する予定である。自治会管理の施設等への「防犯カメラ」設置については、プライバシー保護に関する配慮のほか、地域住民の合意形成など様々な課題があり、慎重に対応する必要があるため、自治会の運用状況を整理する中で検討していく。



街頭防犯カメラ



シティプロモーション事業における 市民参加型の取り組み状況は

▶ 市民団体等の柔軟な発想や専門性を生かし、本市の魅力を発信していただいている。今後はさらなる波及効果に期待し応募団体を後押ししながら進める。



公明党
小池 伸吾 議員

シティプロモーション事業

Q シティプロモーション事業の現在の取り組みは。

A シティプロモーション戦略の3本の柱である、「地域への愛着や誇りの醸成」「観光の振興」「移住定住の促進」を軸として、シティプロモーションを推進しており、この3本の柱が相互に連携することで、「まち」の魅力が高まり、また、その魅力を県内外に発信することで、本市が「行きたいまち、住みたいまち」に選ばれることを目指している。

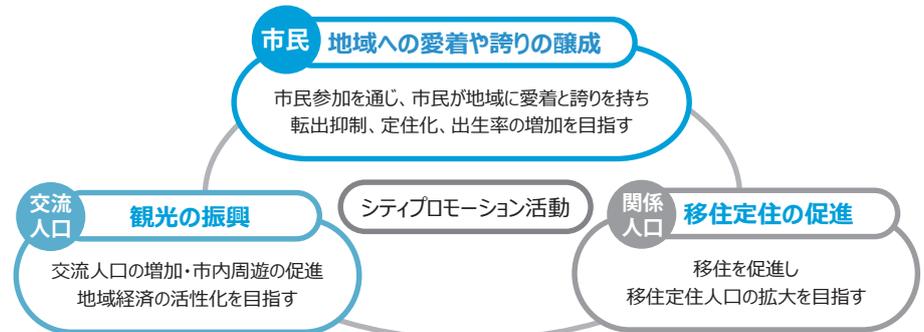
「地域への愛着や誇りの醸成」については、市の魅力を発信する「市民参加型シティプロモーション事業」を、昨年度より実施している。

「観光の振興」については、中部横断自動車道を活用した「バイ・ふじのくに」の取り組みを契機に、静岡方面を中心としたフルーツ・山岳観光の推進に力を入れてきた。

「移住定住の促進」については、移住希望者に本市の自然・歴史・文化や地域のふれあい等を中長期で体験するための拠点を提供する「お試し住宅事業」を、また、移住希望者が短期の滞在を体験する際に市内の宿泊施設を利用していたり「お試し滞在制度」を実施している。

シティプロモーションの戦略の柱

県内外の多くの人に南アルプス市の魅力を知ってもらい「行きたいまち、住みたいまち」に選ばれる



出典：「南アルプス市シティプロモーション戦略」

Q 市民参加型の取り組みについて進捗状況は。

A 市民参加型の事業については、市民団体等の柔軟な発想や専門性を生かし、本市の魅力を発信するため活動していただくもので、昨年度は4団体にプロモーション事業を実施していただいた。

今年度は、5月下旬に開催した審査

会において、企業の社員が本市での余暇を楽しみながら合宿を行う様子をインターネット等で発信する「南アルプス市・プロモーションalワークセッションツアー」など3団体の事業を採択している。

今後は、プロモーションの波及効果がより発揮されるよう、応募団体を後押ししつつ、事業の進捗状況なども含め、本市の魅力を発信していく。

Q インターチェンジ新産業拠点整備事業を活用した情報発信をどう考えているのか。

A 新産業拠点については、多くの方が訪れることから、本市の様々な魅力を発信していく中心的な役割を担う場所であると考えている。

発信する情報については、観光分野におけるフルーツ狩りや山岳情報といった四季折々の情報から、歴史・文化といった年間を通じた情報、またユネスコの理念である自然との共生を図る取り組み、ふるさと納税、移住定住や子育て支援に関する情報など様々な分野の発信をする必要があると考えている。

拠点施設では、こうした情報を広く発信することにより、シティプロモーション戦略に位置付けられている交流人口の増加を図り、本市の魅力を最大限に活用できるような官民連携によるまちづくりに取り組んでいく。



討議の焦点

既存企業が僅か7年間で586社減少している その対策をどのように講じるのか

▶ 既存産業については、安定した事業活動が営める観点から、商工会などの関係機関との連携、協力体制を構築し支援している。



未来創政の会
矢崎 俊秀 議員



産業振興とまちづくりについて

Q 市長は3期目の市政運営における産業振興をどのように考えているか。

A 3期目は、引き続き、新産業拠点整備事業を進めるとともに更なる企業誘致による雇用機会や既存産業へのビジネスチャンスの拡大を促進し、地域経済の健全な発展を推進する。

Q 市の作成した資料では、僅か7年間で事業所等は586社が減少して従業員数も747人の雇用が減少している。また、市が作成した別の資料では、平成26年から平成28年の2年間で従業員数5千人が減少し、事務所数は約2千社が減少している。市はこの既存産業の減少の直接的な対応を放置して、これに代わる手だてとして、新たな企業誘致で既存産業の減少から生じる経済的価値の回復を図るとした政策コンセプトにある。しかし、既存産業対策が不十分にあることから、市税の増加を図るための産業政策論としては偏り感が否めない。そこで、市は既存産業がもたらす税収と新規誘導産業のそれぞれの税収が加算される仕組みの政策が必要であるがどの様に考えているのか。

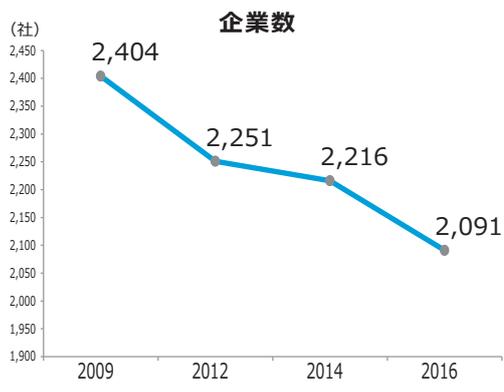
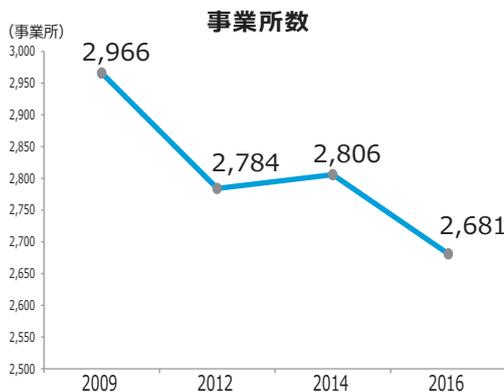
A 既存産業については、収益性や後継者不足などの課題に対し、

安定した事業活動が営める観点から、意欲ある事業者が創意工夫により社会情勢の変化に即応できるよう、商工会などの関係機関との連携、協力体制を構築し支援している。また、南アルプスIC新産業拠点でのヒカレヤマナシやコストコの誘致による相乗効果を追い風に新たな企業誘致を進め、交流人口や商圏の拡大、また観光の活性化を行い、税収の増加を図ることとしている。

Q 持続的な財政力の安定化の観点から産業振興をどのように考えているのか。

A 3期目の市長公約では、「未来をつくる産業振興」として、五つの施策を掲げ、これまでの産業振興策を踏襲したうえで、より具体的な取り組みを示している。今後は、この産業振興策を着実に進めることが、財政力

■本市の事業所数および企業数の推移



出典：「南アルプスIC周辺高度活用推進計画(案)」

の安定化に寄与するものである。

Q 市は財政力の安定化のために、移住定住を促進することが重要であるとの認識が示されている。しかし、人口は漸次減少の傾向にあることから、税収増加を持続的に捉えるには、効果的な人口対策を立てていない限り、無理がある。そこで、既存企業や雇用需要の大幅な減少を踏まえてもなお財政力等は改善し強化されるのか。

A 主要な自主財源の市税については、ここ数年堅調に伸びていることから、財政力指数についても改善して伸びていくものと考えている。

●その他の質問

・まちづくりの観点から、公共施設における入札制度や地場産業の活用と関連企業の振興をどのように考えているのか。

質問の主題



本市が持つ可能性を生かす



新政南アルプス
三木 充 議員

A 新産業拠点エリアに誘致したヒカレヤマナシについては令和6年夏頃、コストコについては令和6年11月のオープンを予定している。インターチェンジ周辺エリアは、市の命運を握る

Q 金丸市長の3期目の公約として、IC周辺開発は本市の将来の姿を決定する重要な開発事業と位置付けている。提出された計画資料に、地域全体における「新たな豊かさ」の創出と表現されているが、「新たな豊かさ」とは、どのような考え方なのか。

南アルプスインターチェンジ周辺高度活用推進計画

「市の玄関口」、昨年8月から「南アルプスインターチェンジ高度活用検討委員会」で検討を重ね、多くの皆様より活発なアイデアやご意見をいただく中で、将来的な土地利用の道標となる「南アルプスインターチェンジ周辺高度活用推進計画」の策定に取り組んできたところである。

「新たな豊



南アルプス IC

「新たな豊かさ」とは、「社会」、「経済」、「環境」に、「人」と「関係」を加えた五つの視点から達成される豊かさであり、本エリアへの企業誘致をきっかけとして、経済的な豊かさだけでなく、子育て世代などが、ライフステージに応じた暮らしや働き方を選択できる雇用機会の創出、多様な人々が繋がるコミュニティづくり、地域資源との連携など、総合的な暮らしの中の豊かさを生み出すこととして

●その他の質問
・基幹産業である農業と企業・工場誘致とのバランスについて

質問の主題



子育て世代の支えとなる保育士の処遇改善を



南風
藤田 亜由未 議員

A 「土曜保育の見直し」や「会計年度任用職員の人事評価の見直し」に取り組む。また、保育士の業務負担軽減を目的としたICTの導入を検討中である。

Q 休憩の時間のノンコンタクトタイムを取り入れられる体制を整える必要があると考えるが、重要性を理解し、現在シフトを調整し2箇所試験的に取り組

保育士の働く環境改善

んでいる。

Q 保育現場の業務負担の軽減について、ICTの導入が不可欠であると考えますが今後の導入についての考えとその時期は。

A 昨年度から調査研究を始めており、多くの業務で保護者と保育士の双方にメリットがあることがわかった。



現在、導入に向けてさらに具体的な調査研究を行った上で、来年度の新規事業として庁内の検討会に上げていきたい考えである。

Q 会計年度任用職員からのアンケートについて丁寧なフィードバックが必要であると考えますが。

A アンケートで業務改善案や不満を上げた後、どのように取り扱われたかなどについても、フィードバックの方法を検討し実施していきたい。

●その他の質問
・シティブロモーションの強化について



市政のここを聞く！

一般質問の映像をご視聴いただけます。



質問の主題



健康寿命延伸対策と 市の花アヤメの 花壇の管理は



躍進会
北村 千代子 議員

Q 健康寿命を延伸していくためには高齢者が要介護状態にならないための「介護予防」が重要と考える。

A 健康寿命を延伸し、健康格差を縮小することを目指している。このプランは九つの重点目標を掲げ実効性のある計画で推進している。

Q 国において、2040年をめどに、健康寿命を3年以上延伸していくプランに向けて、本市の対応は。現在「第三次健康増進計画」と「第二次食育推進計画」を一体化した「健康かがやきプラン」により、継続して健康寿命を延伸し、健康格差を縮小することを目指している。このプランは九つの重点目標を掲げ実効性のある計画で推進している。

健康寿命の延伸

質問の主題



市のシンボル 制定から5年、 今後の活用を！



新政南アルプス
飯野 多恵子 議員

Q 市民アンケートで一体感を感じる割合は、平成30年度が19.3%

A 市民の一体感の醸成の成果は。市民アンケートで一体感を感じる割合は、平成30年度が19.3%

Q シンボル制定の目的とこれまでの活用の経過と今後の活用は。市政15周年に市のイメージアップや市民の一体感の醸成を目的に制定した。4つのシンボルは、市の風土や自然との関わりが深く、南アルプス市らしさをイメージさせるもので、ポスターや広報等で周知している。

市のシンボルを使ったまちづくりと今後の活用

Q 健康寿命を延伸していくためには高齢者が要介護状態にならないための「介護予防」が重要と考える。

A 健康寿命を延伸し、健康格差を縮小することを目指している。このプランは九つの重点目標を掲げ実効性のある計画で推進している。

Q 国において、2040年をめどに、健康寿命を3年以上延伸していくプランに向けて、本市の対応は。現在「第三次健康増進計画」と「第二次食育推進計画」を一体化した「健康かがやきプラン」により、継続して健康寿命を延伸し、健康格差を縮小することを目指している。このプランは九つの重点目標を掲げ実効性のある計画で推進している。

健康寿命の延伸

Q 市民アンケートで一体感を感じる割合は、平成30年度が19.3%

A 市民の一体感の醸成の成果は。市民アンケートで一体感を感じる割合は、平成30年度が19.3%

Q シンボル制定の目的とこれまでの活用の経過と今後の活用は。市政15周年に市のイメージアップや市民の一体感の醸成を目的に制定した。4つのシンボルは、市の風土や自然との関わりが深く、南アルプス市らしさをイメージさせるもので、ポスターや広報等で周知している。

だが、今年度の速報値では40.6%で、市が持つ自然の豊かさや魅力の共有にシンボルが寄与していると考えている。



市役所前のバス停に設置されている市のシンボルの看板

Q 健康寿命を延伸していくためには高齢者が要介護状態にならないための「介護予防」が重要と考える。

A 健康寿命を延伸し、健康格差を縮小することを目指している。このプランは九つの重点目標を掲げ実効性のある計画で推進している。

Q 国において、2040年をめどに、健康寿命を3年以上延伸していくプランに向けて、本市の対応は。現在「第三次健康増進計画」と「第二次食育推進計画」を一体化した「健康かがやきプラン」により、継続して健康寿命を延伸し、健康格差を縮小することを目指している。このプランは九つの重点目標を掲げ実効性のある計画で推進している。

健康寿命の延伸

Q 市民アンケートで一体感を感じる割合は、平成30年度が19.3%

A 市民の一体感の醸成の成果は。市民アンケートで一体感を感じる割合は、平成30年度が19.3%

Q シンボル制定の目的とこれまでの活用の経過と今後の活用は。市政15周年に市のイメージアップや市民の一体感の醸成を目的に制定した。4つのシンボルは、市の風土や自然との関わりが深く、南アルプス市らしさをイメージさせるもので、ポスターや広報等で周知している。

把握し、多くの方が楽しめるよう取り組む。今年度から策定にとりかかる総合計画には位置づけなどの考えは、新たに策定する総合計画には市民憲章と並び市のシンボルとしての位置づけなど記載していく。



ボランティアによるアヤメの管理

質問の主題



公明党
齊藤 博明 議員

理念の実現を担保するのが、「条例」である

A 国では、本年4月に、こどもの基本的な人権及び権利が等しく保障されることを規定した「こども基本法」を施行した。

Q 「子ども・子育て応援宣言」における崇高な精神が、侵害されることなく、未来にわたり守り続けられるためにも、今こそ「(仮)南アルプス市子どもの権利条例」の制定が必要であると考えます。市の所見は。

「子ども・子育て応援宣言」の評価と次なるステップ
〔南アルプス市子どもの権利条例〕の制定に向けて

こども基本法では、地方公共団体の責務として、法律の基本理念にのっとり、地域における子どもの状況に応じた施策を策定し、実施する責務を有すると規定されており、同じく理念を定める条例策定の必要性は低いと考えています。

また、こども基本法に基づく市町村計画の策定が努力義務とされており、併せて本市のこれまでの子ども子育て関連施策の基本計画としてきたこども子育て支援法に基づく「こども子育て支援事業計画」と、子ども若者育成推進法に基づく「市町村こども若者計画」、子供の貧困対策の推進に関する法律に規定する「市町村計画」、次世代



山梨県南アルプス市
こども・子育て
応援宣言



育成支援対策推進法に基づく市町村計画とを一体化して策定するよう規定されている。

本市においても、今年度中にアンケート調査などに取り組み、来年度、これらの計画を一体化したこども計画を策定していく。

質問の主題



躍進会
三枝 守和 議員

公共施設 LED化の進捗状況は

A 公共施設のLED化については、脱炭素に向けた重要な取り組みの一つとして捉えており、今議会に、庁舎の本館、西別館、東別館のLED化と、小学校11校、中学校6校の屋内運動場照明のLED化を予算計上している。今後も、電気の使用量や頻度等により、公共施設のLED化、急速充電ステーション

Q カーボンニュートラル実現に向け、政府は2030年までに保有する全施設のLED化を打ち出している。本市の公共施設LED化の進捗状況は。

節電対策と脱炭素化を両立する取り組み

A 市道八田196号線までの延伸整備は、地区内道路への流入を分散させるためには効果的と考えている。しかし、延伸先には「能蔵池」があり、長きに渡り生活用水、かつ農業用水と

Q 八田14号線が樹園の南で止まっている。西への延伸ばかりでなく東への延伸も必要だが、能蔵池の上を通り東の八田196号線に接続する構想を伺いたい。

八田14号線の延伸に伴う
周辺道路整備

ドの設置など、脱炭素化に向け更に推進していく。



樹園の南で止まっている
八田14号線

して利用され、関連施設も歴史的、文化財的にも伝承され、保存管理されている。また、現地の地形は、東西の高低差が相当あることから、市道八田196号線への安全な接続方法、貯水対策、隣接住宅地に影響する斜面補強対策等などに多額の費用と期間を要することが推測される。まずは、現状をさらに把握する中で、調査研究していく。



市政のここを聞く！

一般質問の映像をご視聴いただけます。



質問の主題



農業振興の 方向性について



保坂 健 議員

Q 農業振興については今後どのような方向を目指すのか。

A 基幹産業である農業の振興は、本市の重要な施策である。中部横断自動車道全面開通に伴い、J A南アルプス市と共同で、新たに静岡港を拠点とした農産物の物流構築に向け、静岡県や静岡青果市場と協議を開始している。これにより、今まで未開拓であった静岡方面での販路拡大はもとより、課題であった海外への輸出についても対応できると考えている。

今後は、「ルート日本海、太平洋パ

未来を拓く農業振興

Q 農業振興については今後どのような方向を目指すのか。

A 基幹産業である農業の振興は、本市の重要な施策である。

Q 農業振興については今後どのような方向を目指すのか。

A 基幹産業である農業の振興は、本市の重要な施策である。

スマート農業の普及

Q 普及に向けて市の所見は。

A スマート農業の普及促進については、まずは農業者に導入する目的や効果を理解していただき、研修会などを通じて実際に確認する場を設け

Q 普及に向けて市の所見は。

A スマート農業の普及促進については、まずは農業者に導入する目的や効果を理解していただき、研修会などを通じて実際に確認する場を設け



AIDローンを使った農作業風景

ることが重要である。

今後は、J A南アルプス市や山梨県等と連携して、スマート農業導入に関する研修会等を開催するとともに、事業の周知も図っていく。

質問の主題



国保税。市独自に 子ども均等割の軽減を



松野 昇平 議員

Q 国民健康保険には、被保険者の人数によって課税される均等割があり、子育て世帯にとっては子どもが増えると税負担が増えるという状況になっている。市独自に子ども均等割の軽減を求めるが、市の所見は。

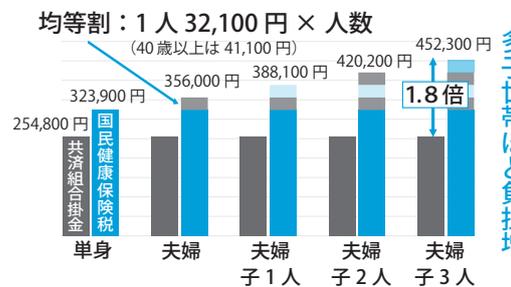
A 令和4年度から、未就学児の子どもに係る国民健康保険税の均等割額の5割軽減が実施されている。国の基準を超えて独自の判断により軽減を行うことについては、国や山梨県からの交付金への影響や税収入、医療費の動向、納付金の金額など様々な見

国民健康保険

Q 国民健康保険には、被保険者の人数によって課税される均等割があり、子育て世帯にとっては子どもが増えると税負担が増えるという状況になっている。市独自に子ども均等割の軽減を求めるが、市の所見は。

A 令和4年度から、未就学児の子どもに係る国民健康保険税の均等割額の5割軽減が実施されている。国の基準を超えて独自の判断により軽減を行うことについては、国や山梨県からの交付金への影響や税収入、医療費の動向、納付金の金額など様々な見

● 共済組合掛金と国保税の比較



夫の所得350万円、妻は専業主婦で比較(ともに40歳未満・年額)

均等割により多子世帯ほど負担増となる

通しを踏まえて、慎重な判断が求められることから、現時点で子ども均等割減免の拡充についてはできないと考えている。

物価等高騰対策

Q 福祉施設等は、新型コロナ感染症への対策、物価高騰によるコスト増により厳しい収益環境にある。昨年同様の支援を求めるが、市の所見は。

A 本市では、福祉、医療、保育施設等に対して、国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、物価高騰に対する支援を行ってきた。また、山梨県では、本年6月の議会において補正予算を計上し、医療機関や福祉施設に対し、光熱費等の高騰分に対する支援を行う予定であるので、状況をみながら判断していく。

Q 福祉施設等は、新型コロナ感染症への対策、物価高騰によるコスト増により厳しい収益環境にある。昨年同様の支援を求めるが、市の所見は。

A 本市では、福祉、医療、保育施設等に対して、国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、物価高騰に対する支援を行ってきた。また、山梨県では、本年6月の議会において補正予算を計上し、医療機関や福祉施設に対し、光熱費等の高騰分に対する支援を行う予定であるので、状況をみながら判断していく。

政務活動報告

南アルプス市をよりよい社会にするために

公明党

参加者

代表：小池 伸吾
河野 木綿子、齊藤 博明

視察先 岐阜県 恵那市

視察日 令和5年5月11日(木)

視察内容

「移住定住推進事業及び恵那くらしビジネスサポートセンターについて」



視察先 長野県 飯田市

視察日 令和5年5月12日(金)

視察内容

「シティプロモーション政策について」
「移住定住政策の具体策と若者世代への政策について」



総括

特に飯田市では「いいだ未来デザイン 2028」の戦略計画を伺い、市の総合戦略の重要性を改めて実感すると共に、飯田市が「結い(ゆい)」による移住定住推進と関係人口創出の「結いターン」を目指して「人が宝」ととらえる考えのもとで市民を中心に取り組み、田舎暮らしの本「住みたい田舎ベストランキング」2023年版で人口5万人から10万人未満のまちで総合部門第1位の結果に心から納得いたしました。会派の6月議会の代表質問「シティプロモーション事業」につながる研修となりました。

一般質問

質問の主題



小林 敏徳 議員

参入業者の審査結果
は何点取って
決まったのか？

新産業拠点整備事業
公募審査の内容

Q 南アルプス市で新産業拠点整備事業に参入する企業の決定は、審査委員会による書類選考、プレゼン審査及び選考を経て、市が優先候補者・次点候補者を決定し、破産管財人と協議した上で、参入事業者を決定するとなっている。

参入事業者と決まったヒカレヤマナシとコストコは、審査の結果、何点取って決まったのか。採用内容について細かく説明を求める。

A 審査方法については、募集案内に定めた「土地利用のあり方との整合性」「実現可能な事業計画」「事業主体としての強い経営基盤」などを基に、12項目にわたる審査基準を設定し、募集案内の審査方法に記載してあり、募集案内の審査方法に記載してあり、総合評価による審査委員の合議により選考している。

参入事業者の採用内容については、地元企業による地域交流施設と国内有数の大型集客施設による事業提案であり、市が求める集客交流拠点としての機能、地域資源の活用、大手企業や地場産業との連携、土地価格などが評価

され、参入事業者として決定したものである。

Q 情報公開において黒塗りとなっていたのか、細かく内容の説明を求める。

A 企業名や事業提案などの情報については、固有の経営資源等を含む企業情報となるので、取り扱いは慎重を期して対応しており、特に、不採用になった企業にとっては、これらの情報や審査結果を公開されることで、不利益をもたらす可能性があるため、公開している情報以上の情報を提供することはできない。

●新議員の紹介

南アルプス市議会議員補欠選挙が4月23日に執行され、保坂広人氏が当選しましたのでお知らせします。
任期は、令和6年11月27日までとなります。

ほさか ひろと
保坂 広人



(所属会派)
躍進会
(所属常任委員会)
産業土木常任委員会

令和4年度 政務活動費支出内容一覧表

本市では、各会派に政務活動費を交付しています。

各会派の令和4年度における政務活動費支出内容は下表のとおりです。

(単位：円)

会派名	支出額	月日	行政視察先	内容等
新政南アルプス (7人) 交付額 1,260,000	調査研究費 605,279 広報費 368,709 合計 973,988	R4/4/28	自治体議会特別セミナー	「議員の質向上と議会運営の基本」
		R4/10/19 ~ 20	全国市議会議長会研究フォーラム In長野	「コロナ後の地域経済」「地方議会のデジタル化の意義と課題」
		R5/1/25~26	岐阜県羽島市	「コストコホールセール岐阜羽島倉庫店について」
			愛知県瀬戸市	「議会改革の取り組みについて」
	R5/1		<広報誌発行> 新政南アルプスだより <資料購入> 「絶対的質問力」資料・動画データ	
躍進会 (5人) 交付額 900,000	調査研究費 871,380 資料購入費 15,550 合計 886,930	R4.5.13	地方議員研究会	「議会改革を考える 先進事例に学ぶ 住民参加・情報公開」
		R4/11/1~2	滋賀県大津市	財政比較特別研修「歳入の財政比較」 「歳出の財政比較」
		R5/1/16~18	地方議員研究会	
公明党 (3人) 交付額 540,000	合計 0			
未来創政の会 (2人) 交付額 360,000	調査研究費 20,000 合計 20,000	R4.4.25		「脱炭素社会を目指して」
日本共産党 南アルプス市議団 (2人 [~R5.1.31]) 交付額 300,000	広報費 145,001 合計 145,001	R4/10 ・R4/11		<広報誌発行> 日本共産党南アルプス市議団ニュース No.52・No.53
南風 (2人) 交付額 360,000	調査研究費 118,358 合計 118,358	R4/4/28	自治体議会特別セミナー	「議員の質向上と議会運営の基本」
		R4/10/19 ~ 20	全国市議会議長会研究フォーラム In長野	「コロナ後の地域経済」「地方議会のデジタル化の意義と課題」

交付額は月額15,000円に会派の人数を乗じた金額となります。

交付額に残額が生じた場合には市に返還となり、超過した場合には超過分を議員が自己負担します。

令和4年度 議長交際費の支出状況

令和4年度に支出した議長交際費をお知らせします。

●議長交際費とは議長が議会を代表して各種行事など対外的な活動をするために要する経費です。

(単位：円)

会費・協力金		お祝い		弔慰		お見舞い		その他		合計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
1	10,000	3	25,000	22	160,000	1	10,000	1	4,410	28	209,410

5月29日

静岡県知事を表敬訪問

金丸市長と飯野議長が、南アルプス市産の果物をアピールするために川勝静岡県知事を訪問しました。

中部横断自動車道の山梨-静岡間が全線開通し両県の間で人の往来が活発になったことを絶好の機会と捉え、市では静岡方面へ向けての果物の宣伝に注力してきました。

この度、果樹観光・果樹物販のさらなる促進のために市産のさくらんぼを持参し知事を訪れ、南アルプス市の果物の美味しさを味わっていただきました。



5月25日

関東市議会議長会定期総会

茨城県の水戸プラザホテルにて、関東市議会議長会第89回定期総会が開催され、飯野議長が山梨支部の支部長として出席しました。この会は、関東各市議会が協同して地方自治の確立と都市の隆興発展を図ることを目的としています。

この日は令和4年度決算、令和5年度当初予算のほか、病児保育事業に対する支援拡充等について審議しました。

6月14日

全国市議会議長会定期総会

東京国際フォーラムにて全国市議会議長会第99回定期総会が開催され、飯野議長が理事として出席しました。この日は、令和3年度決算、令和5年度当初予算のほか、全国各地方の部会から提出された議案について審議しました。また、「多様な人材の市議会への参加促進に関する決議」「ポストコロナを展望した地方行財政の充実に関する決議」など5つの議案を決議しました。

7月5日

茨城県潮来市議会議員 行政視察の受け入れ

茨城県潮来市議会の議員8名が南アルプス市役所を行政視察に訪れました。視察テーマは「自治会活動の取り組みについて」で、自治会加入率の低下を抑えるための取り組みについて、市民活動支援課の職員が本市における取り組みを説明した後、質疑や意見交換を行いました。南アルプス市が作成した「自治会加入促進ハンドブック」「自治会運営マニュアル」の活用方法などについて、多くの質疑や意見が交わされ、充実した視察となりました。



6月24日

2023南アルプス市開山祭

今年の登山の安全を祈願するとともに南アルプス登山を開拓した先人の偉業を感謝する「2023南アルプス開山祭」が、広河原インフォメーションセンターにおいて開催されました。市議会からは議員13名が出席しました。式典では、芦安小中学校の児童生徒が賛歌合唱で明るく元気な歌声を披露した後、山で亡くなられた登山者のご冥福をお祈りする黙とうと献花が行われました。最後に「蔓払(つるはらい)」の儀式では、有野一成産業土木常任委員長が登山の安全を願う祈願文を読み上げた後、行く手をふさぐ蔓(つる)を斧で切り開きました。





市民から ひ・と・こ・と

HITOKOTO from the Citizen



大澤 久司 さん
(地区/小笠原)

私は職場を退職してから、市、町、地域の行事、運動会、夏祭りなどに協力、参加してきましたが、3年ほど前からコロナ禍で今まで行ってきた行事や活動等が中止になり、地域とのつながりに寂しさを感じてきました。ようやく今年5月からコロナが5類に移行し、皆さんの気持ちも和らいできた感じがしますが、またこのところコロナウィルスの感染が増えてきています。気を付けましょう。

いま、私は県、市、地域のグラウンドゴルフの会に入って活動し、練習、試合など楽しんでいます。自分の健康は自分で守ることを目標に毎日を過ごしています。人生100年時代、友達を作ることが大事であり、支え合い、助け合う「共生社会」を目指した住みよいまちづくりのため、南アルプス市及び市議会の活躍を期待しています。



深澤 文隆 さん
(地区/秋山)

市議会に於かれては、議会改革を検討されていると聞き及んでおります。改革の心の一つには市民から信頼され期待される議会を目指すものと推察致します。

信頼される為は何をなすべきかを私なりに考えると、議会質問に於ける真剣勝負にあると思います。市長の顔を潰してはいけないと推し量ったり、内々に協議・調整して於いて、阿吽の質疑応答を行うのでは市民から信頼される議会とは成らないと想います。

市民の声を背景に予算案を修正するくらいの勢いで論議すべきでしょう。(議員の調査や勉強が必要ですが)公開の場で堂々と論議する姿を市民に見せることが議会への信頼と期待を得ることに成ると確信しております。

市民から ひ・と・こ・と 募集中

市議会に対するご意見やご感想をお気軽にお寄せください。



〒400-0395 南アルプス市小笠原 376
南アルプス市議会事務局 宛
メール: gikai@city.minami-alps.lg.jp
FAX: 055-282-6459

みなさんの傍聴をお待ちしております!

事前申込不要 委員会も傍聴できます

●第3回定例会の会期予定

- 9月 1日.....本会議 (初日)
- 9月 4日~11日.....委員会
- 9月 13日~14日.....代表・一般質問
- 9月 19日~26日.....委員会
- 9月 29日.....本会議 (最終日)

※日程等は、定例会前の議会運営委員会で正式に決定されます。(日程が変更になる可能性があります。)

●第2回定例会の傍聴者数: 17人

※報道関係者 11人は除く

編集後記

朝の連続ドラマ「らんまん」は、主人公のモデルでもある日本の植物分類学の父と称される牧野富太郎博士の生涯が描かれています。当時の学歴社会は今より一層厳しい格差社会であったと推察されますが、小学校中退であっても独学の研究を続け、本や雑誌の著作、日本の植物学研究史上に燦然と輝く「牧野日本植物図鑑」を刊行した偉業は卓越しています。94歳で亡くなるまで、植物の研究に没頭した博士の生き様は、今の私たちに多くの示唆を与えてくれます。毎朝のドラマで主人公が「これこそ我が生きる道」と明るく周りの人々と共に前へ前へと歩みゆく姿に励まされ、一日をスタートしている人も多いと思います。

今、南アルプス市議会は重要な課題を抱えています。改めて議員の使命と責務を自覚し、博士の如く地道に忍耐強く真摯に取り組んでまいります。

議会だより 編集委員会 (広報部会)	委員長/河野 木綿子 副委員長/藤田 亜由未 委員/坂坂 健、飯野 多恵子、三枝 守和、北村 千代子、斉藤 諭、 小林 敏徳 (保坂 広人、村松 三千雄、小池 伸吾)
--------------------------	---

南アルプス No.81 市議会だより

発行者 南アルプス市議会 〒400-0395 山梨県南アルプス市小笠原 376
TEL 055-282-6452 FAX 055-282-6459
URL <https://www.city.minami-alps.yamanashi.jp/gikai/>

